

普及活動情勢報告（令和4年3月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

嶺北地域の農業振興の指針案を作成しました ～令和3年度第3回嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会～



嶺北地域の農業振興について話し合う部会員

3月23日に普及所で嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会が開催され、部会員14人が参加しました。

農業部会では、嶺北地域の農業関係機関が連携し、園芸品目の販売促進、担い手確保・育成や有望品目の推進等農業の振興に取り組んでいます。令和3年度は、嶺北地域の農業振興の推進方向を示す「嶺北地域農業振興計画」を見直すため、3つのチームを編成し協議を重ねました。

振興計画は、嶺北地域で農業で生活できる指針となる経営モデルや関係機関の支援策一覧などを盛りこむことが合意され、6月に改定する予定です。

普及所は農業部会の一員として、関係機関と連携し、地域の農業振興に継続して取り組みます。

作付けに向けて ～ミニトマト部会～



先進地調査の内容を真剣に聞く参加者

令和4年3月16日、JA高知県大田口支所でJA高知県れいほくミニトマト部会が作付検討会を開催し、生産者5名が参加しました。

部会では、各生産者が作付け時期と定植本数等の計画を報告しました。

普及所からは先進地視察調査で得た情報と、それを踏まえた今作の試験計画を説明しました。生産者からは先進地での管理方法や栽培品種に対して様々な質問や考察が出され、活発な会になりました。

今後も普及所は収量・品質の向上に向けて、栽培管理技術の向上を支援していきます。

良質なユズ生産に向けて樹形を整えよう～剪定講習会を開催～



剪定講習会の様子

3月15、17日に、JA高知県れいほく園芸部ゆず部会、無農薬柚子部会が大豊町と土佐町において剪定講習会を開催し、計25名が参加しました。普及所からは剪定の目的や手順等を説明し、農業改良普及課の協力を得て剪定の実演と物部地区ユズの栽培管理等の情報提供を行いました。生産者からは「実生樹の剪定はどうすればよいか」など活発に質問が出され、「剪定の基本的な考え方と進め方が理解できた」「樹勢や園地条件に応じた剪定の必要性がわかった」という声が聞かれました。

近年、管内では新植する生産者が多く、普及所は今後も生産者が順調に成木まで管理できるよう、JA、部会役員と協力して指導していきます。

農作業の効率化を目指して ～苗土ポット詰めのカイゼン～



慣行手法と土詰器を比較する生産者と普及指導員

普及所では現在、3月から始まるミニトマトの育苗ポットへの土詰め作業カイゼンに取り組んでいます。3月15、17日に2戸の農家で連続土詰器を使用した方法と慣行の手作業で詰める方法を比較し、カイゼン効果を調査しました。

生産者からは「土詰器の方が早く作業できる」「完全に充填するなら手作業の方が早い」などの意見が聞かれ、農家が求める充填度合いによって時間短縮効果が分かれ、農家の実態に合わせてカイゼンを進めていくことになりました。

今後も普及所は農作業の効率化に向けてカイゼンに取り組んでいきます。

反収UPを目指して ～カラーピーマン部会作付検討会～



取組内容を確認中

3月22日、JA高知県れいほく園芸部カラーピーマン部会は作付検討会を開催し、部会員10名が参加しました。

JAからは、今作の栽培計画と、反収を向上させるための取組について説明がありました。

普及所からは、定植前後の栽培管理と病害虫対策を中心に説明を行いました。

生産者からは、硫黄粉剤の散布方法や殺虫剤の選択についてなど、積極的に質問があげられました。

今後も普及所は部会全体の反収増加を目指し、JAと連携して個別巡回や部会での指導を行っていきます。